

## お客様へ

- ご使用前に説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 照明器具の取付工事は必ず工事店・電器店(有資格者)に依頼してください。

## 工事店様へ

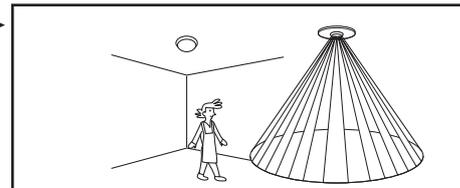
- 施工の前にこの説明書をよく読み、お客様と打合せのうえ、お客様のご使用に合わせたセンサーの設定にしてください。

●この説明書は必ずお客様にお渡しください。

## 人感センサー付照明器具の特徴

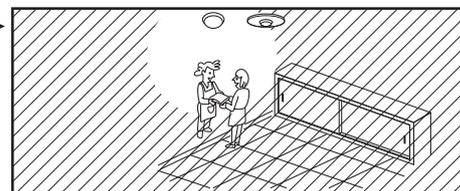
### センサー機能

センサーが人を感知すると、ランプが100%点灯します。人がいなくなると設定された点灯時間(10秒、1分、3分)経過後、消灯します。点灯保持時間が選べます。

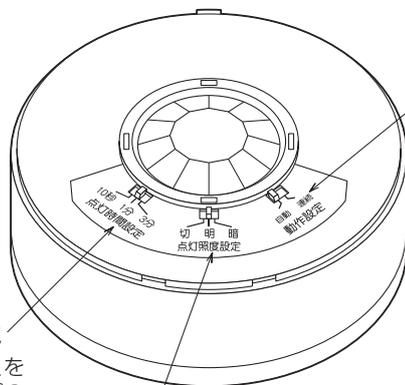


### 強制ON(連続点灯)

連続して点灯させたい時は動作設定つまみを「連続」にすると、強制的にランプを100%点灯できます。



## センサー各部の名称



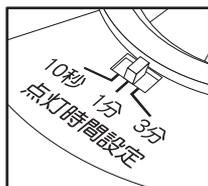
### 動作設定つまみ

動作設定つまみを動かすことで「自動」、「連続」の2つのモードが設定できます。



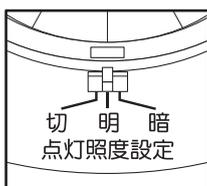
### 点灯時間設定つまみ

点灯時間設定つまみを動かすことでランプの点灯時間を設定することができます。



### 点灯照度設定つまみ

点灯照度設定つまみを動かすことでセンサーが動作する明るさが設定できます。



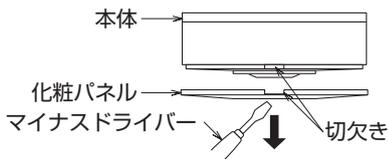
注) エリアマスクを取付けることで、感知範囲をせまくできます。必ず感知範囲を確認してください。(P.2を参照してください。)

**エリアマスク  
貼り付け位置**

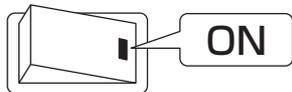
# 初めて使う時(感知範囲を確認する)

## 1. 化粧パネルを取り外す。

化粧パネルの切欠きにマイナスドライバーを差し込み、本体から取り外してください。



## 2. 壁スイッチを「ON」にする。

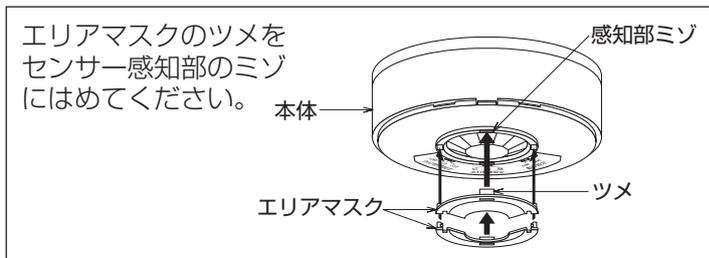


注) 壁スイッチを「ON」にした直後は、ランプが約30秒間100%で点灯(強制点灯)しますが、異常ではありません。

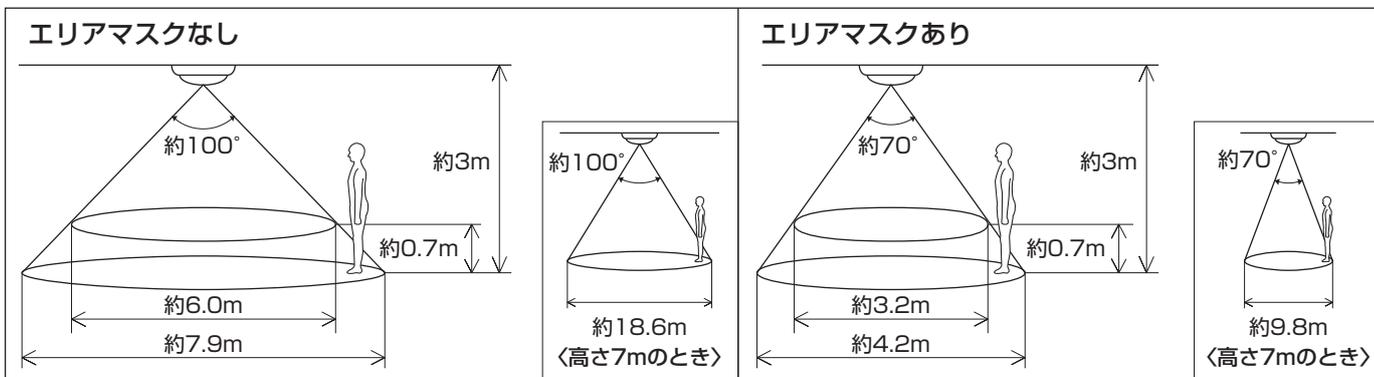
## 3. 感知範囲を決める。

強制点灯(約30秒)後、センサーモードへ移行する。「点灯照度設定」つまみを「切」、「点灯時間設定」つまみを「10秒」にして感知エリアを確認してください。また、感知範囲が広い場合は、センサーの感知部に「エアーマスク」を取り付けて感知範囲を狭くできます。

### 〈エアーマスクの取付方法〉



### 〈センサーの感知範囲〉

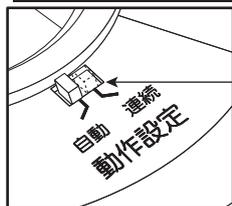


## 4. センサーが動作する明るさ、点灯する時間を決める。

**動作設定方法** をお読みください。(3ページ)

## 5. センサーの動作を決める。

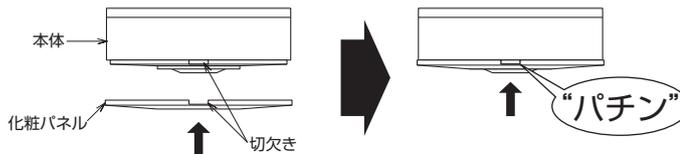
**こんな使い方ができます** を参考に、モードを合わせてください。



「自動」、「連続」に合わせる。

## 6. 化粧パネルを取り付ける。

化粧パネルと本体の切欠き位置を合わせて、「パチン」と音がするまで化粧パネルを押し上げて本体にはめ込んでください。

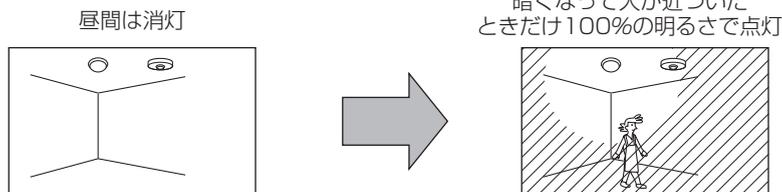


# こんな使い方ができます

「点灯時間設定」のツマミを動かすことでランプの点灯時間(約10秒、約1分、約3分)を設定することができます。又、「動作設定」のツマミを動かすことで「強制ONモード」もできます。

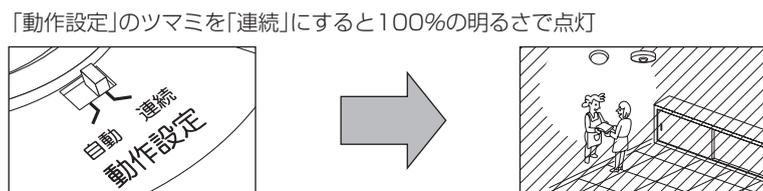
## 人が来たときだけ明るくしたい

動作設定方法



## 好きな時に照明を点灯させたい

強制ONモードの操作



## 動作設定方法

### 1. センサーが動作する明るさを決める。

点灯照度設定のツマミを「切」、「明」、「暗」に合わせる。



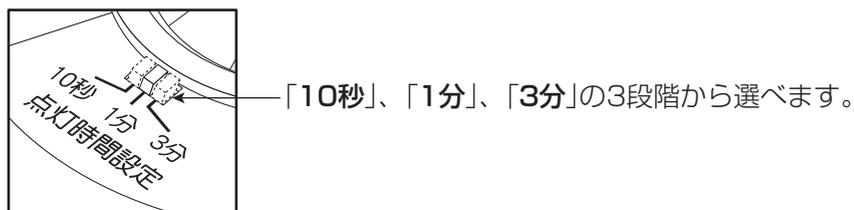
明るさに関係なく点灯させたい。(約10000ルクス以下)  
→「切」に合わせてください。

夕方のやや明るい時から点灯させたい。  
また、明け方に消灯させたい。(約45ルクス以下)  
→「明」に合わせてください。

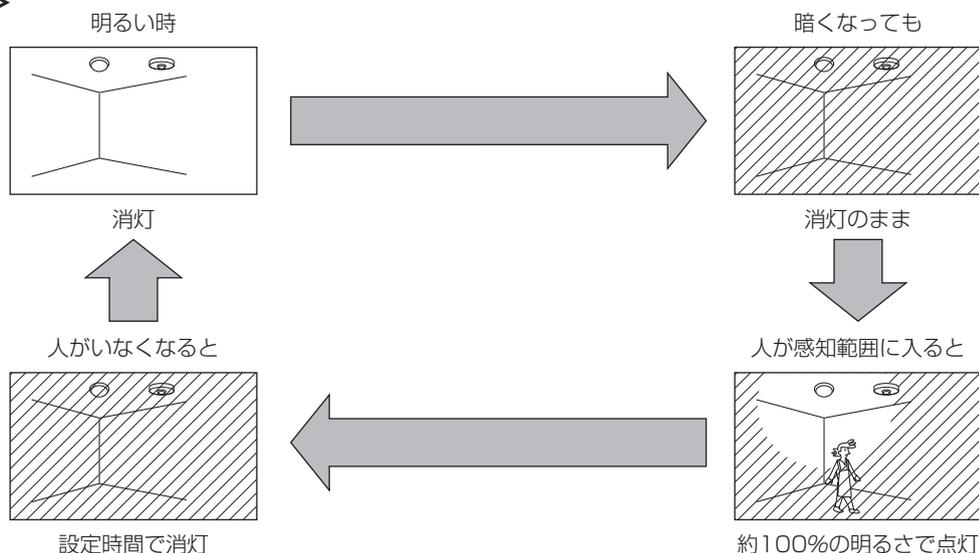
夜暗くなりかけてから点灯させたい。  
また、明け方早くに消灯させたい。(約15ルクス以下)  
→「暗」に合わせてください。

### 2. ランプが点灯する時間を決める。

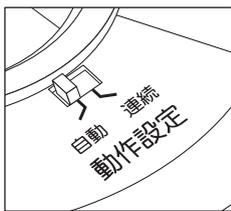
点灯時間設定ツマミをお好みの時間に合わせてください。



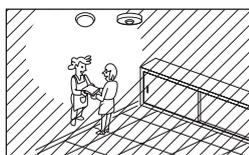
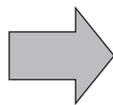
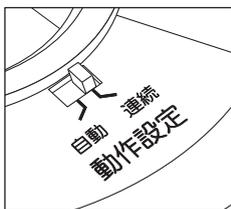
### <動作>



1. 「動作設定つまみ」が「自動」になっている。



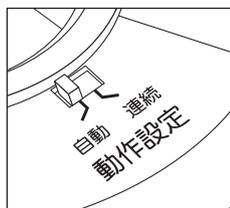
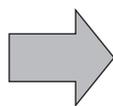
2. 「動作設定つまみ」を「連続」にする。



100%点灯

〈強制ONモードの解除方法〉

●人感センサーモードへ



# 修理を依頼される前に

- センサーの動作がおかしい時は下記を参考に点検を行ってください。
- 処置をした後でも異常があるときは必ず壁スイッチを「OFF」にし、お買い上げの販売店、工事店、または照明器具の取扱説明書に記載の当社相談窓口までご連絡ください。

現象	考えられる原因	処置方法		
ランプが点灯したままで消灯しない	「強制ONモード」の「動作設定」のつまみが「連続」になっている。	「強制ONモード」になっています。「動作設定」のつまみを「自動」にしてください。		
	「点灯時間設定」のつまみが「3分」になっている。	「点灯時間設定」のつまみを「10秒」、「1分」にしてください。		
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="408 595 464 775">明け方</td> <td data-bbox="472 595 911 775">「点灯照度設定」のつまみが「明」になっている。</td> </tr> </table>	明け方	「点灯照度設定」のつまみが「明」になっている。	朝、明るくなる頃までセンサーが動作する設定になっています。「点灯照度設定」のつまみを「暗」にしてください。(→「初めて使う時」をご参照ください。)
	明け方	「点灯照度設定」のつまみが「明」になっている。		
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="408 786 464 976" rowspan="2">明るいとき</td> <td data-bbox="472 786 911 875">照明器具の取付場所が薄暗い。(昼間でも暗い時がある。)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="472 887 911 976">昼間でも、曇り、雨などで周囲が暗くなった。</td> </tr> </table>	明るいとき	照明器具の取付場所が薄暗い。(昼間でも暗い時がある。)	昼間でも、曇り、雨などで周囲が暗くなった。
明るいとき	照明器具の取付場所が薄暗い。(昼間でも暗い時がある。)			
	昼間でも、曇り、雨などで周囲が暗くなった。			
「点灯照度設定」のつまみが「切」になっている。	「点灯照度設定」のつまみが「切」のときは周囲の明るさに関係なく、センサーが人を感知すればランプが点灯します。「点灯照度設定」のつまみを「暗」又は、「明」にしてください。			
感知範囲に人がいるのに点灯しない	夕方	暗くなりかけてからセンサーが動作する設定になっています。「点灯照度設定」のつまみを「明」にしてください。(→「初めて使う時」をご参照ください。)		
	暗いとき	ランプが切れている。	新しいランプに交換する。(→適合ランプは照明器具の取扱説明書又は、照明器具に貼付のランプシールをご参照ください。)	
		ランプが緩んでいる。	ランプを締め直す。(→照明器具の取扱説明書をご参照ください。)	
		センサーの感知部に他の照明器具の光が当たっている。	センサーの感知部に当たる光を遮断してください。	
センサーの感知部が汚れている。	センサーの感知部の汚れを柔らかい布で拭き取ってください。			
感知範囲に人がいないのに点灯する	<p>感知範囲内に人以外の熱源などがある。</p> <p>例：自動車の熱やヘッドライト          近くの道路の通行人          犬や猫などの動物          風などでよく揺れるもの          (洗濯物、旗、植木など)          他の照明器具          エアコンなどの吹出口からの風          強いノイズ(無線ノイズなど)          雨や雪、風など</p>	熱源を取り除く、又は感知エリアを調整する。感知範囲内に左記の例のようなものがあれば、周囲の温度変化を感知し、センサーが動作することがあります。故障ではありません。		

現象	考えられる原因	処置方法
感知範囲に人がいるのに消灯する	感知範囲内で人が静止している。	静止している人は感知できません。
感知範囲が狭い	雨の日に傘などで顔や手が隠れている。	センサーは温度変化を感知するため、左記の場合は感知しにくくなることがあります。
	マフラーで顔を覆ったり手袋をしていて肌の露出部分が少ない。	
	夏の暑い日などで周囲温度と人との温度差が少ない。	
	エリアマスクがついている。	エリアマスクを外してください。 (→「初めて使う時」をご参照ください。)
点灯時間がおかしい	点灯時間が短い(約10秒で消灯) 点灯時間設定ツマミが「10秒」になっている。	点灯時間は「10秒」、「1分」、「3分」、から選択することができます。 (→「初めて使う時」をご参照ください。)
	点灯時間が長い(約3分で消灯) 点灯時間設定ツマミが「3分」になっている。	

## 安全上の注意

### ⚠ 警告

- ランプ交換の際は、同じワット数のランプと交換してください。  
ランプのワット数を変更される場合は必ず専門業者にご相談ください。ワット数をオーバーされると異常発熱や火災の原因になります。
- ランプの交換のときには必ず電源を切ってください。  
故障や感電の原因になります。
- すぐ近くでストーブや電熱器をご使用にならないでください。  
故障や火災の原因になります。
- 器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。  
火災・感電・落下によるけがの原因になります。
- 器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。  
感電・故障の原因になります。
- 器具を布や紙などでおおって使用しないでください。  
火災の原因になります。
- 異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。  
放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。

### クリーニング方法

- 乾いた布で汚れを拭き取ってください。汚れが落ちにくい場合は、よく絞った布で拭き取り、最後に乾いた布で拭き取ってください。
- クリーニング後、動作を確認してください。以前と動作が違った場合、再度、設定してください。



直接、センサーに水をかけないでください。故障の原因となります。

## 安全上のご注意

### 警告

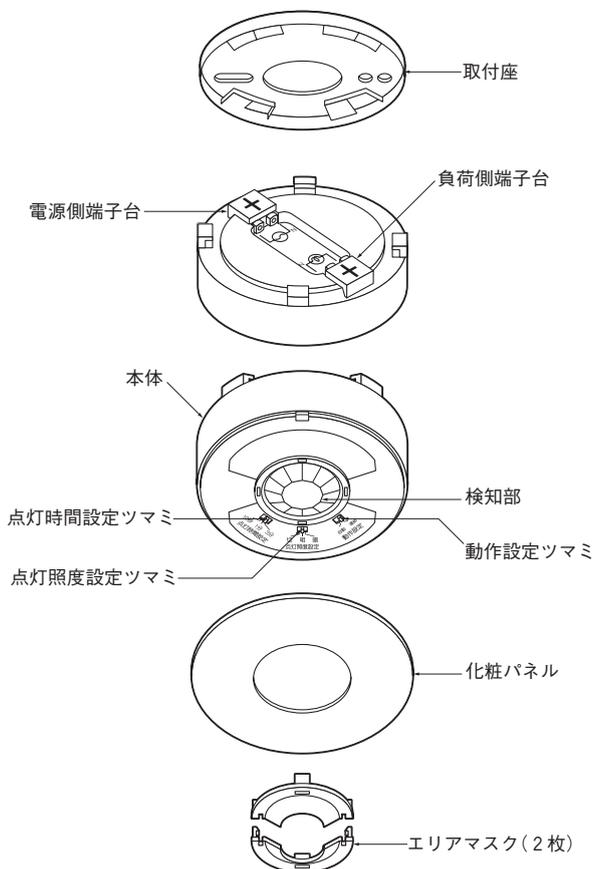
- 電動機器、空調機器などの制御には使用しないでください。誤動作によるけがや事故の原因となります。
- ※HID器具、トランス内蔵器具、別置トランスを必要とする器具、リモコン内蔵器具及び調光器への接続は出来ません。
- 結線する場合、電線を奥まで差し込んでください。差し込み不十分な場合、発熱する恐れがあり、焼損や火災の原因となります。

## 仕様

●屋内天井取付専用人感センサスイッチです。

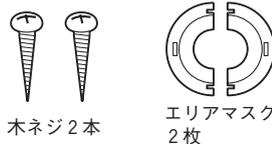
品番	DP-35939	
電源電圧	AC 100V(50/60Hz)	
適合負荷 (別売)	LED	1台~560VA
	白熱灯(ハロゲン含む)	10~700W
	蛍光灯 銅鉄安定器(低力)	350W
	インバータ	240W
	電球形蛍光灯 10/15W	11灯
	25W	7灯
点灯照度	暗・明・切 (15lx) (45lx) (10000lx)	
検知後点灯時間	約10秒・約1分・約3分	
動作	自動・連続	
検知距離	天井高さ約7mまで	
重量	0.2Kg	

## 各部の名称

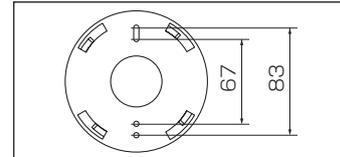


※上図は器具の一部を簡略化しています。

## 付属部品



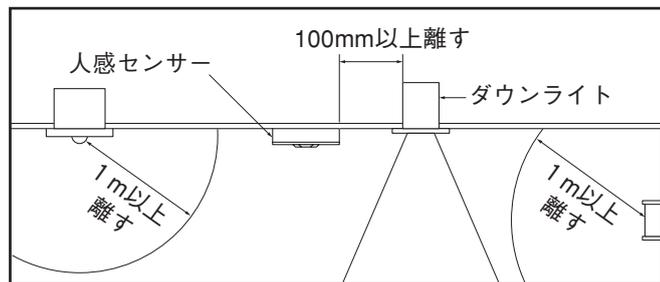
## 取付寸法



## 取付方法

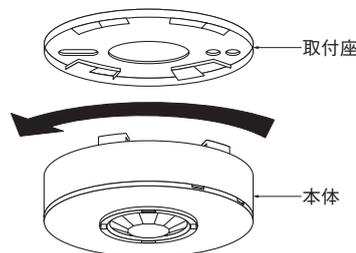
### 1. 施工前のご注意

- 日光、ヘッドライトなどの強い光があたる場所は避けてください。
- 風の強く当たる場所(エアコンの吹き出し口付近)への設置は避けてください。
- ガスコンロなどの熱気をあびる場所、風呂場などの高湿度となる場所は避けてください。
- 配線の際は、必ず電源を切ってから行ってください。
- 電源側と負荷側の結線は絶対に短絡させないでください。
- 高温や振動の激しい所、一般通常環境以外の所には取付けないでください。
- 器具重量に対する取付箇所(強度)が十分かどうか確認してください。
- 負荷側は適合負荷を守ってご使用ください。
- 照明器具から1m以上離れた場所に取付けてください。(検知エリアに照明器具の光が入らないようにしてください。)
- ダウンライトのそばに取付ける場合は、100mm以上離れた場所に取付けてください。  
※但し、天井面よりランプが下に飛び出しているダウンライトは1m以上離してください。(検知エリアに照明器具の光が入らないようにしてください。)



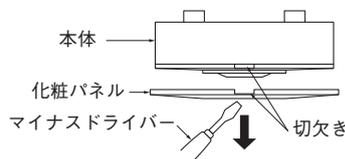
### 2. 取付座の取外し

- 本体を矢印の方向へ回して、取付座から取外してください。



### 3. 化粧パネルの取り外し

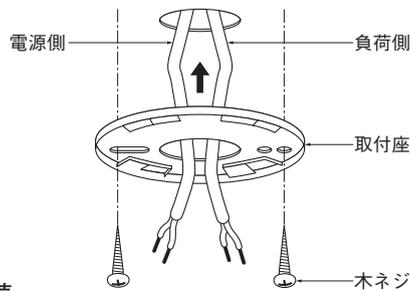
- 化粧パネルの切欠きにマイナスドライバーを差し込み、本体から取り外してください。



(裏面もご覧になって正しくご使用ください。)

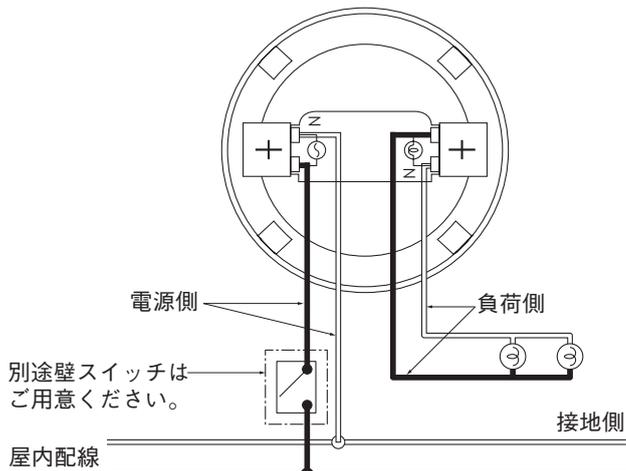
#### 4. 取付座の取付け

- 取付座の電源穴に屋内配線を通し、木ネジ(2本)で天井面に取付けてください。

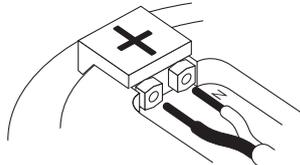


#### 5. 電源及び負荷の接続

- 結線図に従い、正しく配線を接続してください。
- ※ 壁スイッチは必ず設置してください。
- 通常は壁スイッチをONのままご使用ください。



- 屋内配線は、挿入面に直角に、奥まで確実に差し込んでください。(一度引っ張り、接続の確認をしてください。)
- 屋内配線ははずす時は、必ず電源を切ってから解除ボタンをドライバーで押して屋内配線を引き抜いてください。



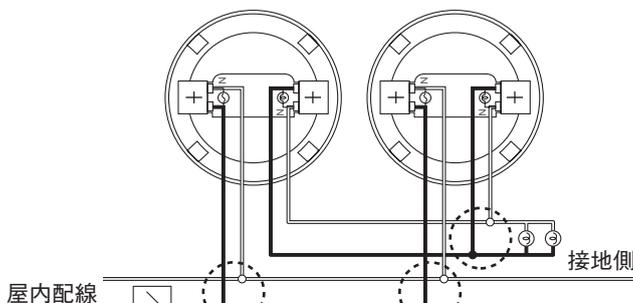
φ1.6 φ2.0Cu(銅)単線専用

14mm

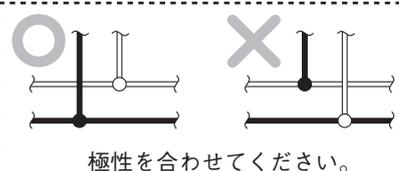
**警告** ● 差し込み不十分な場合、発熱する恐れがあります。

#### 〈同一回路に複数台接続する場合〉

- ※ 最大5台まで接続できます。但し、接続台数にかかわらず負荷は1台分の容量です。
- 必ず電源側及び負荷側配線の極性を合わせてください。誤って配線をしますと、故障します。

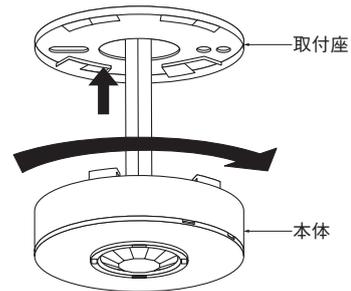


別途壁スイッチはご用意ください。



#### 6. 本体の取付け

- 結線後に本体を取付座に取付けます。矢印の方向へ回してカチッと音がすれば取付け完了です。

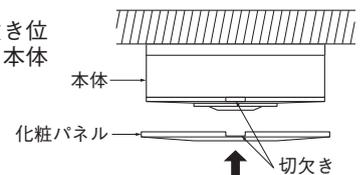


#### 7. 使用条件の設定

- 「取扱説明書」をご覧の上、使用条件(点灯時間設定、点灯照度設定、動作設定)の設定を行ってください。

#### 8. 化粧パネルの取付け

- 化粧パネルと本体の切欠き位置を合せて化粧パネルを本体にはめてください。



#### 9. 使用前の確認

- 取付状態を確認してください。

### 取扱い手順

#### 1. 電源投入直後(停電復帰直後)の動作について

- 電源投入直後(停電復帰直後)から、約30秒間、周囲の明るさ(照度)に関係なく強制点灯となります。 ※センサーが安定するまでの時間で故障ではありません。
- その後、人体検知がなければ自動的に設定されたセンサーモードになります。
- 通常は壁スイッチをONのまま使用してください。壁スイッチがOFFの場合、センサーは動作しません。



### おことわり

- 取付面が充分乾燥してから器具を取付けてください。取付面の乾燥が不十分ですと、絶縁不良の原因になります。
- 器具に殺虫剤等をかけないでください。カバー・グローブ等の落下・変質・変色の原因になります。

### 保守・点検

- 6カ月に1回程度、清掃および点検を行うことをおすすめします。不明な点、および異常を感じた場合は、速やかに電源を切って販売店、工事店、または当社もよりの支店にご相談ください。

#### 【器具の清掃について】

汚れを落とす場合は石けん水をひたした柔らかい布をよく絞って拭き取り乾いた布で仕上げてください。シンナー・ベンジン等の揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色・変質の原因になります。

### 商品についてのご相談・お問い合わせ

商品のお問い合わせ、修理、アフターサービスのご相談は、器具本体に貼付けしている器具銘板で品番を確認の上、お買い上げいただきました販売店、工事店、もしくは当社相談窓口までご連絡ください。 ※電話番号は変更になることがありますので、予めご了承ください。

**CSセンター(0570)003-937(ナビダイヤル 全国共通)**  
へご連絡ください。

受付時間(月～金曜)9:00～17:00 土・日・祝日、夏季、年末年始休業日は受付していません。  
大光電機株式会社 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3-2-7 高麗ビル6F

(裏面もご覧になって正しくご使用ください。)